

富士FJ1600選手権シリーズ 第2戦参戦報告書



岩倉 弘明

先日出場致しました富士FJ1600選手権レース第2戦の結果を下記の通りご報告させていただきます。



レース名:

JAF富士FJ1600選手権シリーズ第2戦

開催日時:

2005年7月17日(日)

開催サーキット:

富士スピードウェイ(静岡県)

ゼッケンNo.

72番

エントリー名:

NATS・IDI・オスカーFJ1600

エンタラント名

ニホン・オートモービルカレッジ

レースレポート

予選:

全17中 9位(1分55秒131)

前半は好調で17台中4番手に付けていたのですが、後半になるにつれタイヤの消耗が多く、他の選手がペースを上げて行く中タイムが伸び悩んでしまい9番手となってしまいました。

ドライビングをもっと煮詰める必要がある事を痛感致しました。

しかし、前戦よりもトップとの差は格段に縮まり、ここから煮詰めのセッティングを行えばトップには容易に手が届く位置まで来れたと思っております。

決勝:

全17台中 リタイア

得意のスタートでポジションを上げ、上位の車に付いて行きさえすれば入賞も狙え、次戦へ繋がるデータをとっておりました。

フォーメーションラップで完璧にタイヤを暖めてスタートに挑みましたっ！

いざっ、スタート！前回よりも動き出しは良く、「これは行ける！」と思った瞬間に駆動が全くなくなってしまいました。

タイヤとミッションを繋いでいる左側のドライブシャフトが折れてしまうというトラブルで、残念ながら一周も走る事が出来ずにリタイアとなってしまいました。

1周も走れなかった悔しさ、一生懸命マシンをセットしてくれたメカニック、そして応援して頂いている方々への申し訳無い気持ちで立ち上がる事すら出来ませんでした。

先生より、担当していたメカニックが悔しさの余りに泣き出していたとお聞き致しました。

ドライバーと同じ位強い気持ちで、メカニックが居てくれる事が分かり非常に心強く感じております。

彼らの熱い熱い思いを胸に、次戦こそは必ず結果を出す事を誓います！！

今回は非常に残念な結果になってしまいました。が、マシンの方向性が良くなっており、次戦こそは良い成績を出せればと思います！！

総評:

結果としては一周目にリタイアという非常に残念な形で終わってしまいましたが、次回のレースに向けてマシンの方向性が正しい事も分かり、様々な試練を乗り越え、メカニックとの一体感が更に深まったと思っております。

次戦までには更にテストを重ね、好成績をご報告出来るように致しますので、是非ともご支援の程宜しくお願い致します。

最後になりますが、今年度このようなチャンスを与えて下さったニホン・オートモビルカレッジ様、御協賛頂いておりますアイ・ディ・アイ様・サスライト様・住友ゴム工業様・スバルコR&D様・ダイワボウ情報システム様そして精一杯マシンを仕上げてくれたメカニックの皆さん、お忙しい中応援に駆け付けて頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。

今後とも岩倉弘明を宜しくお願い致します！！

Hiro Iwakura